

2 個別事業評価調査書

団体名: 与謝野町

事業名		阿蘇霊照苑整備事業					
事業の概要		当施設は本町が管理運営する火葬場であるが、火葬炉の損傷が激しくこのまま使用し続けると火葬業務に支障が生じるため、今回、損傷の激しい最も内側で火葬炉を保護しているセラミック部の貼替工事を行う また設置から8年程度経ち、老朽化により能力が低下している無停電電源装置の取替工事を行う。 ・火葬炉セラミック貼替工事(1炉:3炉中2炉は平成21年度実施) ・火葬炉制御用UPS(無停電電源装置)取替工事(3炉分)					
		事業期間	平成22年5月6日～平成22年5月21日				
		総事業費	719	本年度事業費	719	交付金交付額	359
事業評価	事業の必要性	当施設は本町が管理運営する火葬場であるが、火葬炉の損傷が激しくこのまま使用し続けると火葬業務に支障が生じるため、本整備を実施するものである。					
	事業の有効性	今回、損傷の激しい最も内側で火葬炉を保護しているセラミック部の貼替及び火葬炉制御用UPS(無停電電源装置)の取替工事を実施することにより、火葬炉の使用停止等の事態を回避し施設の円滑な運営に資する。					
	事業の効率性	最も内側のセラミック部の劣化であるが、このまま放置すると火葬炉自体の損傷につながり、膨大な補修費を必要とすることとなるため、このような損傷を避けることにより、無用な出費を防ぎ、かつ火葬炉の延命措置に資するものとなる。 また、UPSの整備により停電等の不測の事態に対応した効率的で安定した火葬業務を行うことができるようになる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 当施設は、町内唯一の火葬場であり、火葬業務が停止した場合の影響は計り知れず、こういった事態を避けることは必須であり、今回の整備を行うことで、利用者の安心に繋がる。					
		3 リーディング・モデル成果 火葬炉は、コンクリート、耐火レンガ、セラミックの3層構造となっているが、最も内側のセラミック部の貼替を実施することにより、セラミック層の機能が果たされ、火葬炉の保熱性、燃焼効率の向上に繋がる。 また、UPSの整備により停電等の不測の事態に対応した効率的で安定した火葬業務を行うことができるようになる。					
4 広域的波及成果 火葬炉の保熱性、燃焼効率の向上により、燃料費の削減、自然環境に及ぼす負担軽減等の効果が得られる。							
5 行財政改革に資する成果 施設整備を適切な時期に行うことで、長寿命化を図る。							
		6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。